



並木中等story

令和2年4月28日号

並木中等は top learner です！

臨時休校が5月末まで延期となりました。このことを知り、皆さんはどのような気持ちになったでしょうか。いつ再開するの？勉強は大丈夫かな？などと不安になった人も多いと思います。本校は休校対策においても、他の学校のお手本を示しています。これまでに、6校の先生方が授業配信等の方法について勉強に来校しました。茨城新聞社やNHKからもWebでの進路講演会を取材に来ました。並木中等教育学校は休校中でも地域の先頭を進む学校なのです。

5月も授業のWeb配信を続けます。いつもと違う日々ですが、一つ一つこなして行きましょう。進路講演会で卒業生が“勉強のコツの一つは習慣をつけること”とも話をしていました。休校中の勉強の習慣を早く作ってください。

R2
4/27

A版 第三種郵便物認可

茨城新聞

進学助言を生配信

並木中等教育学校 卒業生招き講演会

つくば市並木の県立並木中等教育学校(井坂孝校長)で22日、ライブ配信による進路講演会が開かれた。本来は生徒を集めて開催する予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、ライブ配信に切り替えた。5年生(高校2年)が参加し、卒業生から大学受験の心構えや勉強法についてアドバイスを受けた。

同校は、10年ほど前からICT(情報通信技術)を取り入れた教育を実施しており、ライブ配信に必要な環境が整っている。生徒は自身のタブレットやスマートフォンを使って講演会に参加した。

講演会には浪人を経て大学に合格した卒業生を招いた。講師を務めたのは、慶応義塾大1年の寺田泰成さん(19)と筑波大1年の深野一真さん(19)。

2人はノートパソコンを通して、受験の失敗談や浪人生の時にやっていった勉強法を紹介。「志望校を早め決めよう」「毎日の授業や課題に真剣に取り組むことが大切」といったアドバイスをした。

ビデオ会議システムで生徒(画面右)の質問に答える寺田泰成さん(同中央)と深野一真さん(つくば市並木中等教育学校)

「ビデオ会議システムを利用した質疑応答も実施。生徒は書き込みや通話で志望校の絞り込みなどの質問を投げ掛けていた。講演後、寺田さんは「ライブ配信でも十分な講演ができた。5年生には、高校生活を楽しく上で受験を頑張ってもらいたい」と話した。(秋葉凌)

クロスアイ HPPに動画

令和2年
4月27日付
茨城新聞
記事